東京高等師範學校教授 文學博士 小野島右左雄著

新刊

現代性格心理學

菊判洋裝紙數二百八十頁
定價金二圓五十錢・送料廿二錢

日本精神研究の科學理論漸く成る

本書は人生を語り、生活を論じ、人間を見る心理學であつて個人の性格を說く、のみならず國民性格をも問題とする。現代科學理論の變革の理論を示しながら時に、東西洋の思想を檢討し日本精神國民精神等の研究の科學理論を提唱する。

著者我國心理學界於ける欝然たる大家、性格理論にかけては早に體制理論に、立ちながら獨自の境地を展開してゐる。世の教學に當るものはこれに依つてその教化の道を教へられ家庭にあつては父兄はこれに依つて其の子弟の教育に誤なきを得るであらう。そして日本精神研究はその强固な科學的地盤をもつに至るであらう。

今其の大綱を示せば（一）現代心理學と力動論（二）體制理論（三）力動論と性格（四）性格類型法則一般（五）性格研究法一般（六）一般ボロギイ（七）心理學的トボロギイ（八）性格の生成（九）心理的診斷の諸問題（十）性格と教育方法誘導の理論（十一）日本人とその國民性格（十二）結論性格心理學の諸問題とその任務、科學と云ふこと、國民性格の陶冶と外來思想批判——一般教育家指導家、研究家は勿論心ある人々の一讀を望む。

文學博士 小野島右左雄著

最近心理學概說

菊紙定送判數價料
洋八五三
綴百圓十
全一頁八十三
冊餘錢錢

文檢必讀要書

拾數年高等學校、高等師範學校、專門學校、大學等に心理學を講じ、所詮、何等かの體系化的考察を强要せられる立場にある。その意味、於て過去を清算し將來に延び樣とする著者の一つの念願がこの書に依つて滿されやうとする事は著者有つた大なる歡喜であるといはねばならない。——と本書の自序に博士が書かれて居る如く實に本書こそは博士が學的生涯の前半生を劃された最も苦心の著述である。而して博士は我心理學界に於てもそれ最高峰と目さるゝ伯林派形體論に通曉せらるゝ隨一人者、即ち其所說は從來の心理學に猶幾多の新しき問題を齎らし之を極めて體系的に記述し、讀者をして如何に心理學に深き興味を覺えせしむるか計り知れざるものがある。一般心理學の愛好者は勿論、高等程度の教科書及文檢受驗者等に取つては絕好の參考指導書である。是非御必讀を乞ふ。

發行所 東京市牛込區辨天町一七四 中文館書店 振替東京三八四二七番